



いみず市議会だより

Imizu City Congress News

No61

令和3年2月1日発行



本庁舎(総務文教常任委員会)



クロスベイ新湊(産業建設常任委員会)



救急薬品市民交流プラザ(民生病院常任委員会)

第3回 射水市議会 議会報告会

1月	12月	11月	市議会のつぎ
22日 広報委員会	7日(定例会) 議会運営委員会、本会議、産業建設常任委員会、予算特別委員会、広報委員会、全員協議会	30日 議会運営委員会、全員協議会	市議会のつぎ
11日 本会議(一般質問)、広報委員会	26日(臨時会) 議会運営委員会、本会議、総務文教常任委員会、予算特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会、港湾振興特別委員会	24日 議会改革特別委員会専門部会	
15日 本会議(一般質問)、広報委員会	17日 議会運営委員会	19日 議会運営委員会、全員協議会	
11日 本会議(一般質問)、広報委員会	16日 議会改革特別委員会専門部会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
15日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
17日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
18日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
21日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
22日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
23日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	
24日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	16日 議会改革特別委員会、民生病院常任委員会、産業建設常任委員会	17日 議会運営委員会、全員協議会	

石黒善隆議長を選出、瀧田孝吉副議長を再任

臨時会を11月26日に開催し、議長に石黒善隆議員を選出、副議長に瀧田孝吉議員を選出（再任）しました。また、常任委員会等各委員会の委員を変更し、それぞれ新しい委員長、副委員長を選出しました。（新しい委員会構成は12ページをご覧ください。）



石黒 善隆 議長



瀧田 孝吉 副議長

就任ご挨拶

昨年11月臨時会におきまして、射水市議会第16代目の議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、その重責に身の引き締まる思いであります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、市民の皆様の生活や地域経済にも大きな影響がありました。議会としても、市民の安心な生活を取り戻すために感染症拡大防止と地域経済回復に向け、市当局と連携し、この難題に取り組んでまいります。

また、本市においては人口減少対策、福祉や医療サービスのあり方、地域防災力の強化などの課題が山積する中、地方自治体と地方議会の果たす役割は重要になっております。二元代表制の一翼を担う議会に課せられた責務は、今後ますます重いものになると考えております。

射水市議会では、議会の最高規範となる「議会基本条例」の制定、議中継のインターネット配信の実施、政務活動費の精算払い制度の導入、ホームページにおける議会資料や政務活動費の領収書の公開など、積極的な情報公開に取り組んでまいりました。

今後においても、議員としての自覚と責任をもって職責を果たすとともに、公明正大な議会運営に努めることはもとより、「市民に開かれた信頼される議会」を目指して、さらなる議会改革に取り組んでまいります。議員一同、心一つにして市民の皆様の幸せと射水市の発展のために、誠心誠意努めてまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議決結果一覧表

【議案】 2件			【同意】 1件		
番号	件名	結果	番号	件名	結果
第73号	令和2年度射水市一般会計補正予算（第7号）	可決	第1号	監査委員の選任について	高橋 久和 同 意
第74号	射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	【選挙】 3件		
【報告】 1件			番号	件名	結果
第14号	専決処分の報告について（令和2年専決処分第4号 和解及び損害賠償額の決定）	—	第1号	議長の選挙	石黒 善隆 当選
			第2号	副議長の選挙	瀧田 孝吉 当選
			第3号	富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙	石黒 善隆 当選

※11月臨時会では議案等への反対はありませんでした。

12月定例会

会期

12月7日～12月24日 18日間

令和2年度射水市一般会計補正予算など28議案を可決

12月7日から24日までの18日間の会期で開催し、継続審査となっていた令和元年度の各会計決算7件を認定したほか、議案28件、同意33件を審議しました。

議決結果一覧表

[議案]

28件

番号	件名	結果
第70号	令和元年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第71号	令和元年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第75号	令和2年度射水市一般会計補正予算(第8号)	可決
第76号	令和2年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第77号	令和2年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第78号	令和2年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第79号	令和2年度射水市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第80号	令和2年度射水市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第81号	令和2年度射水市病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第82号	射水市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	可決
第83号	射水市斎場条例の全部改正について	可決
第84号	射水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第85号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	可決
第86号	射水市都市公園条例及び射水市体育施設条例の一部改正について	可決
第87号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第88号	高岡市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
第89号	氷見市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
第90号	砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
第91号	小矢部市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
第92号	南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更に関する協議について	可決
第93号	高岡市牧野地区の火葬業務に関する事務の委託に関する規約の廃止に関する協議について	可決

番号	件名	結果
第94号	射水市七美コミュニティセンター新築(建築主体)工事請負契約について	可決
第95号	指定管理者の指定について(道の駅新湊)	可決
第96号	指定管理者の指定について(新湊農村環境改善センター)	可決
第97号	指定管理者の指定について(大門コミュニティセンター及び大門農村環境改善センター)	可決
第98号	指定管理者の指定について(大島農村環境改善センター及び大島北野河川公園施設)	可決
第99号	指定管理者の指定の期間の変更について(射水市七美コミュニティセンター)	可決
第100号	令和2年度射水市一般会計補正予算(第9号)	可決

[認定]

7件

番号	件名	結果
第1号	令和元年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
第2号	令和元年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第3号	令和元年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第4号	令和元年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第5号	令和元年度射水市水道事業会計決算認定について	認定
第6号	令和元年度射水市下水道事業会計決算認定について	認定
第7号	令和元年度射水市病院事業会計決算認定について	認定

[同意]

33件

番号	件名	結果
第2号	射水市農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とする事について	同意
第3～27号	農業委員会委員の任命について	同意
第28号	教育委員会委員の任命について	同意
第29号	公平委員会委員の選任について	同意
第30～34号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

[議員別賛否一覧/賛成と反対の双方があった議案等について掲載]

議員名	加治宏規	高畑吉成	根木武良	瀧田孝吉	島正己	菊民夫	中川一夫	中村文隆	山崎晋次	石黒善隆	不後昇	吉野省三	伊勢司	津田信人	堀義治	竹内美津子	奈田安弘	高橋久和	小島啓子
議案第70号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

代表質問



【自民議員会】

奈田 安弘 議員



- 1 市長の市政運営について
- 2 新年度予算の編成方針について
- 3 新斎場について
- 4 国民健康保険事業特別会計について

問① ▶ 市長の市政運営について伺う。

答 ▶ 市長3期目の3年間は、市民の幸せの実現を念頭に、子育て支援や学び環境の充実など、総合計画に掲げる重要施策を着実に進めるとともに地方創生の実現に向け、人口減少の克服と地域活性化に努めてきた。また、本市のまちづくりに関わる重要な各種計画の策定や見直しを図るなど、新たな礎を築く重要な期間であったと捉えている。残り1年間の任期は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と地域経済回復との両立を図るとともに、アフターコロナを見据え、小杉駅周辺地区まちづくり基本構想の策定や、フットボール場の整備等、新たな地域活性化や賑わい創出に取り組んでいく。

問② ▶ 新年度予算の編成方針について伺う。

答 ▶ 国が掲げる行政手続きのオンライン化や申請書類の縮減、電子申請手続きの簡素化・迅速化といった「新たな日常」に向けた環境づくりに歩調を合わせる。コロナ禍における新年度の市税収入については、給与所得の減や企業の業績悪化等により、令和2

年度当初予算と比較して、約10億円程度の減収になると試算している。全ての事務事業についてゼロベースからの検証や優先順位づけなどを行い、真に必要な施策に予算を重点配分する。

問③ ▶ 新斎場の使用料について伺う。

答 ▶ 「使用料・手数料の適正化に関する基本方針」に基づき、人件費、物件費、減価償却費の合計で年間にかかる経費を算出し、それを年間想定火葬件数で割り戻した。その結果、火葬1件当たりにかかる経費が約10万円であり、受益者負担割合が25%の施設となっていることから、市民が支払う使用料を2万5千円とした。

問④ ▶ 国民健康保険事業特別会計の現状と課題について伺う。

答 ▶ 本市の現行の保険料率は、県から示される標準保険料率とは開きがある。また、所得割と均等割は県内最小であり、保険料水準は大変低い状況にある。本会計は収支不足が続いており、平成27年度以降、収支補填のために財政調整基金からの繰入れを行っている。今後、基金繰入を前提とした事業運営は難しくなることから、保険料率の見直しを検討していかなければならないと考えている。



その他の質問

- とやま呉西圏域連携中枢都市圏の事業への取組について
- 不登校への対策について
- 射水市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について
- 港湾の活性化について
- 射水市住生活基本計画について

代表質問



【自民党新政会】

堀 義治 議員



1 新年度予算編成について

2 公共施設の再編の実行について

3 持続可能な公共交通（コミュニティバス等再編プラン）について

4 道の駅新湊について

問①▶ 新年度の予算編成方針では、特別枠を設け、本市の更なる成長につなげるとしているが、市長は、新年度予算編成において、どのような政策提案を期待し、実現したいと考えているのか伺う。

答▶ 新年度予算に盛り込む具体的な事業は、例えば、中小企業の支援等、地域経済の活性化に資する事業等が挙げられる。また、国が掲げる「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の推進に歩調を合わせ、IoT、AI等の新たな技術を活用した市民サービスの向上を図る事業等に積極的に取り組みながら、「新しい日常」を市民の皆様とともに築き上げ、市民の皆様の幸せにつながる施策を盛り込んだ予算としたい。

問②▶ 「射水市公共施設個別施設計画」について、施設の利用者や地域住民の理解を得ながら、再編を着実に進めていく必要があると考えるが見解を伺う。

答▶ 今後、計画に沿って様々な検討に着手していくが、市民の皆様や施設利用者の方々に対しては、機会を捉えて公共施設の総量削減の必要性に加え、施設ごとの更新費用や維持管理

費等を丁寧にご説明し、再編へのご理解をいただきながら計画を実行していく。

問③▶ コミュニティバス等の再編プラン（案）では、どのように見直すのか。また、市民への周知方法について伺う。

答▶ 今回の素案では、小杉駅や市庁舎周辺、大島地域を循環する路線を新設する。あわせて、重複路線の統合や長大路線の分割、運行本数・ルートの見直しを図るなど、現行の19路線から17路線に再編する。また、デマンドタクシーの運行区域の見直しを行うなど、将来を見据えた効率的で利便性の高い持続可能な公共交通網の構築を図る。周

知方法については、市報やホームページへの掲載をはじめ、出前講座や乗り方教室の開催など、さまざまな機会でも周知・啓発を図る。

問④▶ 道の駅新湊のリニューアルに合わせ、周辺エリアの一体的な活用等も含めた新たな機能や魅力の付加が必要だと考えるが、今後の展望も含めて見解を伺う。

答▶ 道の駅新湊周辺エリアを「射水の魅力発信の場」としてとらえ、方向性や求められる機能などを整理し、エリア全体の構想を検討したうえで、道の駅新湊のリニューアルに取り組む。



その他の質問

- 庁舎と大島分庁舎の部局配置について
- デジタル化の推進について
- 地域共生社会の実現について
- 多核連携型のまちづくりの推進について

一般質問

- 1 合併15年を振り返って
- 2 市未利用地の活用・売却について



加治 宏規 議員

問①i▶ 合併15年、旧市町村の5地区における人口の推移はどのようになっているのか。

答▶ この15年で、市全体では4,137人の減。新湊地区は5,098人減、小杉地区は597人増、大門地区は6人増、大島地区は674人増、下地区は316人減となっている。

問①ii▶ 5地区での違いの分析・評価について伺う。

答▶ 本市の人口は、死亡数が出生数を上回る自然減の状況にあるが、人口が増加している小杉、大島、大門地区では民間事業者による宅地供給が進められた結果である。一方、新湊地区の市街地中心部は、町屋形状の住居が多いことなどから、建物の保全・更新のしづらさもあり、転入に比べて転出が上回っている。下地区は市街化調整区域であることなどから、新たな宅地造成がなく自然減が主

な要因であると捉えている。

問②i▶ 市未利用地は住宅用地へ活用するため、いつでも売却できる状態になっているのか。

答▶ 全ての未利用地が即座に売却可能ではなく、測量等の調査を要する。

問②ii▶ P Rするため、市未利用地の情報と空き家情報バンクを一緒に周知するべきではないか。

答▶ 市未利用地の情報と空き家情報バンクの連携も含め、市未利用地の売却を促進するよう、より効果的なP R方法について検討していく。

その他の質問

- 神通川左岸浄化センターについて
- 消雪施設について
- 小規模イベントに対する支援について

一般質問

- 1 射水市公共施設個別施設計画(素案)について



小島 啓子 議員

問①i▶ 公共施設個別施設計画素案に係る説明会の具体的な実施方法について伺う。

答▶ 当初、全体の説明会を市内4、5か所で開催する計画としていたが、新型コロナウイルス感染症が再び拡大しつつあること等を踏まえ、令和3年2月6日(土)と7日(日)の午前に、クロスベイ新湊及び救急薬品市民交流プラザの2会場で、対象者を限定しない形で説明会を開催する計画であり、併せて新たな試みとして2月6日(土)の午後にはウェブ会議方式での開催も計画している。また、個々の施設利用者等への説明も機会を捉え、丁寧に行いたい。



問①ii▶ 南太閤山コミュニティセンターの整備について、計画では令和13・14年度の整備としているが、前倒し整備できないか。また、あいあい保育園が小杉ふれあいセンター跡地に移転するが、その敷地をコミュニティセンター敷地として取得してはどうか。

答▶ 他施設においても老朽化に伴う課題を抱えており、経過年数に基づき計画的な改修に努めたい。また、長寿命化を図る大規模改修を想定していることから、新たな敷地を求めることは考えていない。今後の改修計画を踏まえながら、しかるべき時期に地域振興会と協議し、計画的に整備を進めたい。

その他の質問

- ふるさと射水応援寄附について

一般質問

- 1 脱炭素社会を目指して
- 2 不妊治療の相談体制の確立及び支援体制の充実について



不後 昇 議員

問①▶ 気候非常事態やゼロカーボンシティを宣言する自治体が増えている。本市においても脱炭素社会の実現に向けてシフトすることが重要である。また、災害時のエネルギー供給源の確保等、分散型再生可能エネルギーへの取組についても自治体の役割は重要であると考えている見解を伺う。

答▶ 本市においては、環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止対策を推進しているが、SDGsの達成に向けた取組と併せ、これまで以上に取組を強化することは重要であると認識している。気候非常事態宣言やゼロカーボンシティ宣言については、こうした取組を強化するなかで、温暖化の状況を注視しながら対応していきたい。また、分散型再生可能エネルギーへの取組についても、地域の強靱化や活性化などの観点から有効と考え

ており、本市にマッチした再生可能エネルギーの導入について検討していきたい。

問②▶ 不妊治療の保険適用までの間、相談体制の確立及び支援体制の充実が重要と考えるが見解を伺う。

答▶ 本市ではこれまで、不妊治療に対する助成を重点項目として取り組んでいるが、引き続き、国が打ち出している助成額の拡充や回数制限の緩和等の動向を注視していく。



その他の質問

- ケアラー支援について
- 教育環境の整備と地域連携の推進について

一般質問

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

2 地域おこし協力隊について



高畑 吉成 議員

問①i ▶ 富山県新型コロナウイルス感染症対応資金の利用状況について伺う。

答 ▶ 県内では11月末時点で10,663件、1,758億円の融資申し込みがあった。市内の利用状況は把握できないが、同融資を受ける際に必要な本市の認定件数は12月9日現在1,030件であり今後も増加していくものと考ええる。

問①ii ▶ 児童虐待について伺う。

答 ▶ 昨年同期比では減少しているが、不安を抱える子ども・保護者の増加を予測しており、引き続き児童相談所等と連携し早期の発見・対応をしていく。

問①iii ▶ 不登校児について伺う。

答 ▶ 今のところほぼコロナの影響はないと思われるが、これまで同様、分かる授業の工夫、担任・マイサポーター・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・気がかりポストなどの機能を

働かせ相談体制の充実に努める。

問②i ▶ 地域おこし協力隊員の活動内容について伺う。

答 ▶ これまでに培った豊富な経験を生かし、新たな視点や発想から生まれる事業提案を行い、隊員各自が理想とする暮らしや生きがい発見に繋がるよう取り組んでいただいている。

問②ii ▶ 退任後の隊員への市の関わり方について伺う。

答 ▶ 任用期間中、隊員自身が地域と密な関係性を築き、退任後も市内に定住いただくことを望んでいる。退任後の就職・起業・住居に関する相談にも応じている。

その他の質問

●外国籍市民への情報伝達について

一般質問

1 海老江地区の松枯れについて

2 新斎場の使用料について



根木 武良 議員

問①i ▶ 海老江地区の松枯れは前回質問時よりも被害が広がっている。被害の大きい会社への対応を伺う。

答 ▶ 特に被害の大きい会社には電話により、伐採していただくよう要請したところ、年度内に伐採するとの回答をいただいている。

問①ii ▶ 今後の市の松枯れ対応については、地元との協議も必要と考えるが見解を伺う。

答 ▶ 松枯れを放置すると害虫により被害が拡大するため、松枯れの原因となる害虫が羽化する来春までに被害木の伐採処分等を行う。地元との協議については11月6日に開催された海老江地区での「市長のまちまわり」で対応方針等について協議している。今後とも松枯れ被害が拡大しないよう注視していく。

問②i ▶ 新斎場の使用料は現行の10倍となるが、どのように算出したのか伺う。

答 ▶ 使用料・手数料の適正化に関する基本方針に基づき算出している。年間経費を算出し、年間想定火葬件数で割り戻した結果、火葬1件当たり約10万円となった。受益者負担割合25%の施設であるため、使用料を2万5千円とした。

問②ii ▶ 減免対象を伺う。

答 ▶ 災害被災者や生活困窮者等やむを得ない理由がある方の申請により減免できることとした。

その他の質問

- 65才以上の高齢者・基礎疾患を有する人で希望者のPCR検査の助成について
- ◆市民病院と介護保険施設の入院患者及び入所者の面会について

一般質問

1 現射水市斎場について

2 都市公園フラワーパーク沖塚原について

3 2021年産主食米の生産目標について



津田 信人 議員

問① ▶ 現射水市斎場の解体工事と跡地利用の計画について伺う。

答 ▶ 現斎場は令和2年度でその役割を終えることから早期に解体したいと考えている。跡地利用については、一般的な土地利用や売買は難しいものと考えており、現在のところ未定であるが、隣接する衛生センターの長寿命化計画もあることから工事機材のヤードや仮設の建屋として利用する場合もあり、事業完了後どの様な利用が可能か検討したい。

問② ▶ 都市公園フラワーパーク沖塚原の特徴について伺う。

答 ▶ 駐車場は67台の駐車が可能で、トイレは中央に多目的トイレを配置した屋外タイプとしている。公園機能としてはパークゴルフ場を囲む外周園路として670メートルの遊歩道を設置しており、

ウォーキングや途中で設けたベンチで花々を楽しむことができる。パークゴルフ場については3コース合計27ホールで、1コースの平均延長は488メートル余りで、市内の類似施設で最も長い延長を有する。

問③ ▶ 県の2021年産主食米の生産目標が2.2パーセント減となったが市の作付方針及び今後の予定について伺う。

答 ▶ 大豆などの非主食用米等への転換を進めていく。また、12月25日の市農業再生協議会臨時総会で生産目標面積の配分を決定し、地域に提示する。

その他の質問

- マイナンバーカード普及とマイナポイント申請について

一般質問

1 策定された諸計画の
市民への周知について

2 学生・若者が集まる
街づくりについて



山崎 晋次 議員

問①▶ 本市の諸計画について、高齢者の方を含めた市民へ広く周知を図るため、各コミュニティセンターに各計画書及び概要版を配置すべきと考えるが見解を伺う。

答▶ 各種計画は、市民と共に推進していくものであり、周知は極めて重要と考える。計画の目的や趣旨を鑑み、積極的な配置に取り組みたい。

問②▶ 小杉北部線周辺から、太閤山ランドまでのエリアで学生・若者を核とした街づくりを進めることにより、その若者のパワーが地域の活性化につながると考えるが見解を伺う。

答▶ 策定中の小杉駅周辺地区まちづくり基本構想では、小杉駅及びその周辺に都市機能を集約することとしている。また、隣接する歌の森運動公園周辺には、

スポーツ・文化施設が集積し、スターバックスコーヒーのオープン、太閤山ランドの立地など、環境整備がされており、駅周辺との連携により魅力的なエリアが形成されると考える。本市では、学生の若い力をまちづくりに取り込むとともに、高等教育機関との連携によるまちづくりを推進するため、新たな連携手法を検討している。そうした協議の場の設置とともに卒業後も市内に定住し、就職・結婚・子育てするための優遇制度をPRするなど、定住促進に努めたい。

その他の質問

- 起業を志す学生・若者への支援について
- ◆ 将来にわたる情報通信技術の活用について

一般質問

1 射水市の小中学校における
性教育の実状と今後について

2 障がい児(者)支援の強化
について

3 学校給食費の公会計化について



竹内美津子 議員

問①▶ 小中学校での性教育に産婦人科医等の専門家による授業を取り入れるべきではないか。

答▶ 学習内容だけでは不十分な部分については、児童生徒の発達段階に応じ専門家から直接指導を受けることのできる時間をいのちの教育等の指導計画の中に位置付けたり、必要に応じて専門家の指導助言を得る体制を整えるなど、校長会や専門家を有する関係機関と相談しながら性教育を中心にしたいのちの教育の充実に努めたい。

問②▶ 障がい児(者)の支援強化と生涯にわたる対応について伺う。

答▶ 支援については、市の関係部署や障害福祉サービス事業所等の外部の関係機関と連携しながら障害の特性を踏まえライフステージに沿って切れ目のない支援を行っている。また、今年度策定中の第6期射水市障害福祉計画においても、支援の提供体制の整備や地域生活支

援拠点等の充実に努めることとしている。引き続き障がい者が住み慣れた地域で自らが望む生活を継続できるよう支援していく。

問③▶ 学校給食費の公会計化についての現状を伺う。

答▶ 導入手法等については、文部科学省の情報を参考に県内関係機関等と情報交換を行い、調査を進めている。給食費の公会計化に対応するための管理徴収システムの導入費用や人的経費など、課題等を整理しながら、導入に向けて調査・研究を進めたい。



港湾振興特別委員会

所管事務について1件の報告

伏木富山港のコンテナ取扱量については、令和元年度の1月～10月と比較して、令和2年度は新型コロナウイルス感染症などの影響により約12%減少しており、この10年間で最も少ない55683TEUであった。
※TEUとは、20フィートコンテナ1個分の単位

内川の不法係留船解消状況を視察



議会改革特別委員会

今後、この委員会を検討していくべき課題などを整理しました。

委員会では今後検討していくこと

◆ なり手不足への対応

◆ 災害時の議会対応

◆ タブレットの多目的な使用方法の検討

予算特別委員会

令和2年度射水市一般会計補正予算（第8号）（議案第75号）及び（第9号）（議案第100号）を可決すべきものとしました。

認知症の見守り施策の充実を

問 郵便局やコンビニ等との見守り協定の現状と課題は。

答 12月現在、34の事業者と協定等を締結し、見守りや声かけ、異変に気付いた場合の連絡等に協力いただいている。今後とも協力事業者とは情報共有等を図るとともに、引き続き、協力事業者数の拡大に努めていく。

問 認知症個人賠償責任補償制度の導入についての考えは。

答 認知症サポーター養成講座の開催やスマートフォンを利用した検索アプリの導入など、まずは認知症となっても安心して過ごせる地域づくりや体制整備を行い、個人賠償責任保険については、2025年に向け、状況をみながら検討していく。

12月15日



12月22日



12月23日



公園のあり方について

問 公園の統廃合や公園計画の策定に対する考えは。

答 公園は、憩いの場や災害時の避難場所など、多様な目的や機能を有しているが、同じような公園が近距離に存在している例もあることから、まずは市全体の現在の公園の配置状況を整理し、今後の公園のあり方について調査研究していく。

決算特別委員会

議案2件及び認定7件を可決及び認定すべきものとしました。

〔一般会計〕

スポーツ少年団の加入について

問 令和5年度までに、加入率35%を目指すということであるが、この数字をどのように捉えているか。

答 スポーツ少年団の加入については強制することとはできないが、その後の各競技の振興や競技力の向上につながると考えている。スポーツの魅力発信するとともに参加しやすい活動にしていきたい。また、行き過ぎた指導がないように指導者の育成にも力を入れ、全体を注視しながらスポーツ少年団の普及に力を注いでいく。

〔水道事業会計〕

水道事業の広域連携について

問 水道事業の広域連携は現在どのような状況になっているのか。

答 富山県において、令和4年度末までに水道広域化推進プランの策定が義務付けられており、現在は県下の水道事業の広域連携について協議が行われている。また、県西部6市においても広域化の検討会を行っている。

〔病院事業会計〕

富山大学附属病院との提携業務について

問 富山大学附属病院との提携業務は現在どのような状況か。

答 富山大学附属病院と射水市民病院は病病連携しており、附属病院主催の研修を受けることもあれば、市民病院で研修会を開催することもある。また、附属病院から市民病院に転院する場合は、必要に応じて看護師が出向き患者の状態を把握した後に転院いただいている。



総務文教常任委員会

議案7件を可決すべきものとし、また、所管事務について9件の報告を受けました。

小杉駅周辺地区

まちづくり基本構想の策定

【目指す将来像】

地域資源を活かし、地域住民や事業者、各種団体、行政等との協働によるまちづくりを行うことで、賑わいの創出や地域活性化を目指す。

【スケジュール】

- 令和3年1月 第3回基本構想策定協議会
- パブリックコメント募集
- 令和3年3月 最終案を3月議会で報告

問 しっかり計画を進めるため、まずは、小さなモデル地区を作ること検討してはどうか。

答 外部委員会等においても同様の意見があり、モデル事業を実施した場合、国からの有利な財源等を活用可能か調査するなど、資料として整理したいと考えている。

民生病院常任委員会

議案9件を可決すべきものとし、また、所管事務について12件の報告を受けました。

令和2年度射水市後期高齢者

医療事業特別会計補正予算

(第2号)(議案第77号)

歳入歳出にそれぞれ31万6千円追加するもので、歳入については、国庫補助金における高齢者医療制度円滑運営事業費補助金を増額し、歳出については、令和3年度税制改正に係るシステム改修に伴う委託料として増額するもの。

問 今後の財源確保について、被保険者の自己負担等で影響はあるか。

答 後期高齢者医療保険の収入において、保険料の占める割合は制度全体の10%である。自己負担等の影響については、年収200万円以上の方の一部は、令和4年度後半から医療機関窓口で2割負担になる見込みで、被保険者の約23%に影響があると推測している。



産業建設常任委員会

議案8件及び同意1件を可決及び同意すべきものとし、また、所管事務について3件の報告を受けました。

道路除雪計画について

積雪時における円滑な道路交通を確保し、市民生活と産業経済活動の安定を図るため、令和2年度除雪計画を作成した。関係機関と連携を図りながら効果的な除雪作業を実施する。

問 協力業者の選定基準はどのようになっているのか。

答 新規参入においては除雪機械を所有していることが前提条件で、事業者であればその他の制限は設けていない。



問 コロナウイルス感染症の影響で協力業者が除雪できなくなったときのバックアップはどのようになっているのか。

答 そのような状況になった場合は近隣の業者にバックアップを依頼する予定である。また、職員が除雪車で除雪作業を行う場合もある。

第3回

議会報告会

射水市議会では3回目となる議会報告会を10月31日（土）に開催しました。今回の報告会は、議員17名が各常任委員会に分かれ、市内3会場で同時開催し、参加者82名と議員は活発に意見交換しました。

議会報告会は2部構成で、第1部は「議会改革について」、第2部は「各常任委員会における新型コロナウイルス感染症対策について」をテーマとして、報告及び意見交換を行いました。

第1部では、『本市議会の議会改革』及び『市議会の活動に関する市民アンケート』を説明の後、質疑応答を行いました。また、報告会終了後から11月7日の期間、議会報告会に参加できなかった市民の方を対象として、同様のアンケートをホームページ上で募集しました。

第2部では、各常任委員会が所管する関係の新型コロナウイルス感染症対策について報告し、各会場それぞれ的手法で参加者との意見交換及

び質疑応答を行いました。

なお、議会報告会いただいた意見等については、12月定例会中の各常任委員会において、それぞれの委員会が所管する事項について、今後の対応方針等を協議しました。

詳細については、市議会ホームページをご覧ください。



◆ 主な質疑や意見

Q 議員定数削減が否決された。コロナ禍により市民の意見を聞く機会がなかったとのことだが、議会報告会に参加できなかった市民の意見も反映しながら、再度挑戦してもいいのではないかと。

A 議会報告会に参加できなかった方についてもホームページに掲載するアンケート等を通して意見をいただき、それらも参考にして協議していきたい。

● 本日の議会報告会のように、議員が訪問して意見交換会を開いてくれたことに感謝している。

● 学生支援の一環として、米に加えて海産物等を送る支援策は大変良かった。

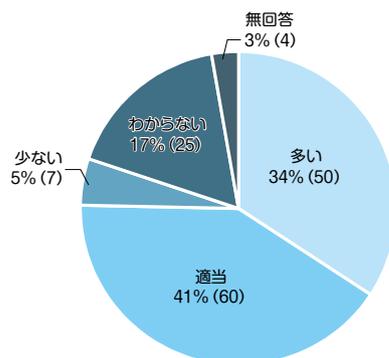
● 市民病院で病児を預かるような施設ができないだろうか。

◆ 各常任委員会での協議結果

各常任委員会において、政策提言が必要とまでは認められなかったが、民生病院常任委員会では、病児保育等について調査研究を行なっていくことにした。ほかの2常任委員会においても、貴重なご意見として受け止めた。

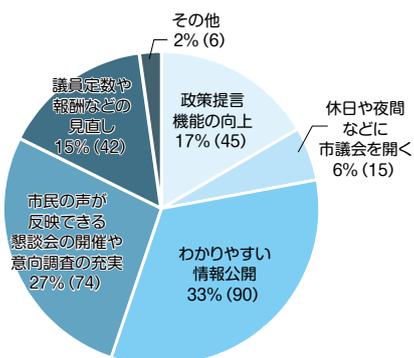
市民アンケートの結果 (抜粋)

問 あなたは現在の議員定数22人についてどう思いますか。



※円グラフの()書きの数字は回答数

問 あなたは議会改革の取り組みとして何に期待しますか。(複数回答可)



個々の議員がこの結果を真摯に受け止め、今後の議会運営に活かしていきます。

新しい委員会構成

議会運営委員会 (6人)

[委員長] 島 正己 [副委員長] 中村 文隆
[委員] 加治 宏規、高畑 吉成、津田 信人、竹内美津子

総務文教常任委員会 (7人)

[委員長] 山崎 晋次 [副委員長] 不後 昇
[委員] 伊勢 司、津田 信人、堀 義治、竹内美津子
奈田 安弘

民生病院常任委員会 (6人)

[委員長] 小島 啓子 [副委員長] 高畑 吉成
[委員] 根木 武良、石黒 善隆、吉野 省三、高橋 久和

産業建設常任委員会 (6人)

[委員長] 中村 文隆 [副委員長] 加治 宏規
[委員] 瀧田 孝吉、島 正己、菊 民夫、中川 一夫

港湾振興特別委員会

[委員長] 堀 義治
[副委員長] 津田 信人
[委員] 議長を除く全員

議会改革特別委員会

[委員長] 吉野 省三
[副委員長] 竹内美津子
[委員] 議長を除く全員

予算特別委員会

[委員長] 奈田 安弘
[副委員長] 山崎 晋次
[委員] 議長を除く全員



広報委員が新しくなりました

[委員長] 島 正己
[副委員長] 山崎 晋次
[委員] 瀧田 孝吉 中村 文隆
石黒 善隆 吉野 省三
堀 義治 奈田 安弘
小島 啓子



編集後記

 広報委員長 島 正己

昨年10月、3回目となる『議会報告会』を市内3会場で開催したところ82人の市民に参加いただきました。報告会では『市議会の活動に関する市民アンケート』を行い、15の設問に回答をいただきました。問の一つ「あなたは議会の活動や情報をどの様な方法で得ていますか」(複数回答可)に対して、議会だよりの回答が最多でした。

議会だよりの役割の一つは、議会でどのような議論を経て結論に至ったのか、その経緯を分かりやすく市民に報告することだと思います。議会だよりで議会の審議内容を詳細にお伝えすることは紙面の関係で難しいかもしれませんが、知恵を出し合い改善を重ね、より分かりやすい議会だよりを目指していきます。

3月定例会は、 3月1日(月)から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課 (TEL 51-6610) までお問い合わせください。

傍聴者数

11月臨時会

本会議 …… 5人
委員会 …… 3人

合計 8人

12月定例会

本会議 …… 18人
委員会 …… 13人

合計 31人